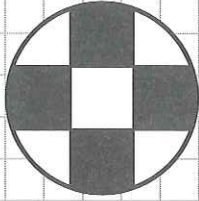


一般社団法人全日本囲碁協会機関紙



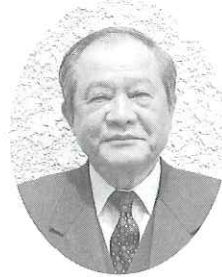
日本の碁

平成 26 年 10 月 14 日 発行

第 5 号

なぜ全碁協か

内久根孝一



もう二十年も前（現役時代）、私は「碁会所の日本列島縦断」を画したことがあった。全国を碁会所で埋めたら、いつ、どこへ行っても碁が打てる。当然、それは普及にも大きくつながるはずだ……。

東京八重洲を皮切りに、金沢、仙台、京都、大阪……と次々に作っていった。ところが、好事魔多し、バブル崩壊。金融機関は巨額の不良債権を背負い込み、「そんな場合か」と、せっかく作った碁会所は全店閉鎖の憂き目に遭う。

私は意地も手伝って代表格の八重洲を個人で買い取り、「いずみ囲碁ジャパン」を設立した。しかし普及という観点からすれば、一店だけではどうにもならない。碁界

に何も貢献できないのではないかと、焦燥、諦め、悔しさ、何か対策はないのか。

そんな折も折、あのレジェンド菊池康郎氏が日本碁界の現状に危機感を持ち、全国（これが大事）組織を立ち上げた。まさに神の配慮というべきか。私は双手を挙げて参加を表明した。

現在、設立早々ではやむをえないが、組織体制は不十分。運営財源も不十分。私は発起人菊池、桑原氏に、「体制が整うまで事務全般を当社で引き受けましょうか」と申し出て了承された。

さいわい、全碁協は一步一步前進している。さらに今般ホームページが開設され、多くの人が参加しやすくなった。次は全国各地域で本会の趣旨を理解し、情熱をもって賛同し、そして行動していただける有志同志を糾合すること。こそって立ち上がり「日本の碁」復活の狼煙を上げたい。

目的と事業

定款の目的と事業は次の通りです。確認しておきましょう。

第3条（目的） 当法人は、広範囲の年齢層に囲碁を普及し、その効用を啓発して人間形成に役立てることを目的とする。

第4条（事業） 当法人は、前条の目的を達成するために、次の事業をおこなう。

- (1) 自己開発による能力向上、視野拡大、挫折に対する耐性の修練などのための啓発事業。
- (2) レクリエーション効果による精神的身体的影響の調査とその周知事業。
- (3) 目的設定による気力増進、認知症発生抑制に関する調査研究とその周知事業。
- (4) 世代間、地域間の交流を促進する断絶解消事業。
- (5) 競技囲碁の発展を主とする団体と一線を画しながら、当法人の目的に合致する部分での連係事業。

平成二十六年度
第2回理事会決定事項報告

日時 8月19日

場所 いずみ囲碁ジャパン

出席 菊池康郎、内久根孝一、

藤崎三佐雄、滝沢千晴、

桑原青人、相場一宏。オ

ブザーバー 土屋弘明。

議長 内久根、書記 相場。

議題 H P 立ち上げに関して

前回の理事会で了承されたH P ネットの作成と運営について、具体案が検討されました。

アドレス

<http://zengokyo.blog.fc2.com/>

いずみ囲碁ジャパンの上村宜彦

氏が取り扱うことになりました。

1、銀行口座

振込先 みずほ銀行新宿支店

店番号 240

口座番号 2371792

2、会費

一般社団法人全日本囲碁協会

正会員 年 一万二千元

賛助会員 年 一口 一万元

賛同会員 年 二千元

会費納入にあたり、振込み手数料はご負担願います。

領収書は発行せず、金融機関の発行する振込み受領書を代わりとさせていただきます。

入会期日は、入会月末日となります。

3、会員証

入会承認通知に代えさせていた

だきます。入会番号を記載してあるので、保存をお願いします。

4、名簿記載

会員名簿への記載は、H P および機関紙「日本の碁」です。確認願います。

5、会員更新

満一年ごとに更新。更新期日をあらかじめお知らせします。

未入金会員は二ヶ月後に会員資格を失効します。

退会者および除名会員には、納入会費を返却しません。

6、会員の特典

機関紙「日本の碁」を送付するほか、各種企画の仲介、連結経営の事例紹介など多方面に涉つてい

ます。また、イベントとして全碁協囲碁大会（ネットを含む）をも考えています。

7、経理

しばらくは、いずみ囲碁ジャパンの協力を受けて現体制のままもおこないますが、いずれにしても

早晩改変の必要があります。この件については改めて理事会での協議をおこなう予定です。

現在の事務所は新宿「秀策」の一部に電話を設置し、ロッカーを置いていますが、これから事務量が

が増えてくることを考えると、処

理しきれなくなるのは目に見えています。

どうかして独立した事務所を持ちたいというのが理事会の希望

ですが、そのためには多額の費用が発生し、現状では困難というよう

りありません。

したがって、理事会のこれからの課題は、会員の増大による収入

増を図ると同時に、企業メセナや

公的融資の可能性を積極的に探っ

ていかなければならないのではない

でしょうか。

この点について、理事会の方針

はまだ固まっていません。次回の

理事会は10月20日に決定していま

すが、それまでは情報収集に務め

る予定です。もし心当てるある会

員のかたがいらっしゃるなら、当

日までに事務局へ御一報いただき

たいし、その後もそうした情報は

大歓迎です。



全碁協が発足してから半年。一

歩一歩の前進は確かですが、目指

す理想にはまだまだ遠く、歩みも

けっして速いとはいえない状態

です。百里の道はまだ二十里ほど。

あるいはここしばらくが最も苦し

い時期かもしれません。やりかけ

たことをやり遂げるためにも、いっ

そうの協力をお願いします。

会員名簿

9月末現在、正式に加入を表明している正会員、賛助会員、賛同会員の名簿です。順不同。

正会員

菊池 康郎【緑星囲碁学園】

(全日本囲碁協会代表理事)

東京都中野区

03(3360)1555

塩崎 泰朗【東山囲碁サロン】

全日本囲碁協会監事

東京都目黒区

03(3713)4800

山口 晋【前下北沢囲碁セン

ターオーナー】

全日本囲碁協会理事

東京都世田谷区

03(3429)8257

相場 一宏

(全日本囲碁協会理事、囲碁ラ

イター協会名誉会長・囲碁

史会運営委員・天元戦新人

王戦観戦記者)

茨城県つくばみらい市

0297(58)8254

桑原 青人【碁席秀策】

全日本囲碁協会理事

東京都新宿区

03(3232)8745

平田 信子【平田碁会所】

埼玉県蕨市

048(431)8496

藤崎三佐雄【津田沼囲碁クラブ】

千葉県習志野市

0474(75)5255

須崎 善治【丈和】

東京都東村山市

0423(95)4635

堤 加容子【燦々】

東京都国立市

0425(76)5591

内久根孝一【いずみ囲碁ジャパン】

東京都中央区

03(5202)6093

滝沢 千晴【新宿囲碁センター】

(NHK学園・囲碁学苑講師)

東京都新宿区

03(3349)4977

広瀬 恵一【囲碁サロン欄柯】

東京都目黒区

03(3715)8610

牛山 修【囲碁サロン道玄坂】

東京都渋谷区

03(3780)3691

及川 尚【囲碁サロン絆】

東京都杉並区

03(6768)1511

大沢 完治【囲碁サロンさいたま

(NPO日本青少年囲碁協会理事、

NPO埼玉県青少年女囲碁協会理事)

さいたま市中央区

048(857)1518

古長 俊雄【日本橋本町囲碁サロン】

東京都中央区

03(3639)1811

樋口純一郎【囲碁クラブ南越ヶ谷】

埼玉県越谷市

048(988)9646

賛助会員

野口雅人

内野真理

坊野恭子

二火会(吉田慎次郎)

出口雄司

藤森昭治

平田 興

川村麻紗子

片寄 一

賛同会員

松本 昭男

飯塚 あい

香山 由志子

小林 千鶴

青木 勝

今井 速人

光井 一矢

福井 三男

安永 一、久保田 とし子

喜代田 高明

曾我部 敏行

秋山 文平

◎会員の特典

資格については理事会報告で。

特典はさらなるプラスを理事会

で検討中です。

会員同士の連携

この夏、会員の連係によって異色の記念対局が実現しました。少しい間があきましたが、改めて紹介しましょう。

工藤くんは埼玉県の中学ナンバーワンで、日本棋院の院生を目指しています。田中くんは兵庫県の中学生で、関西棋院の院生です。田中くんが上京したのは、関西棋院院生の東京合宿。終わったあと

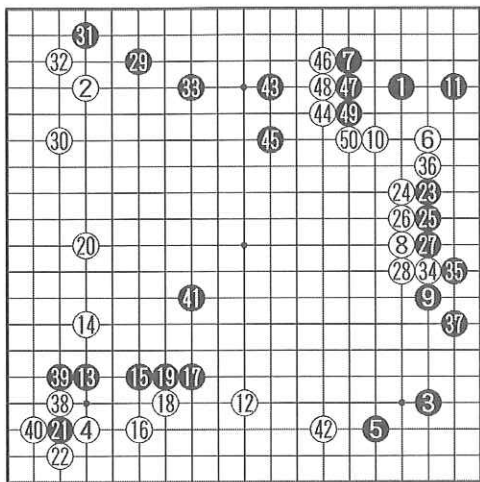
で、縁戚の古長氏(正会員)に同行のお母さんが連絡し、だれか適当な相手がいないかと相談されました。古長氏は桑原氏(正会員)に連絡し、桑原氏は大沢氏(正会員)に連絡し、大沢氏はNPO埼玉県少年少女囲碁協会の理事でもあるので、工藤くんが人選されたという経緯です。

会員同士の連係によって成立し

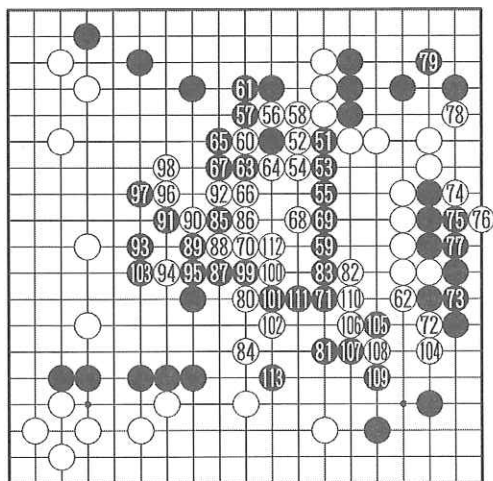
た記念対局ですが、こうしたケースは今後もしばしば生じることと思われます。連係が密になれば、さらにさまざまな企画が考え出されるでしょう。

対局は古長氏の経営する日本橋本町囲碁サロンでおこなわれました。勝敗は別にして、二人の少年の夏休みを締めくくる碁であったことは疑いを入れません。

なお、後日、金島忠九段、久保秀夫六段にこの碁を見せて、次の



第1譜



第2譜

黒 工藤義也(中学2年)

白 田中康湧(中学1年)

□第1譜(1~50) □第2譜(51~113)

□114手以下略(黒中押勝)

ようなコメントをいただいたそうです。

1譜 黒15は工夫がたりない。18の大ゲイマなどが考えられる。

黒23は疑問。いまウチコむところではない。

42まで、白がまあまあよし、の形勢。

2譜 白100の段階では、まだ白がいい。このあと、黒ががんばって逆転した。

手順は煩雑になるので途中までしか示しません。このあと白は右辺の黒一団をコウで取り、黒はコウダテで下辺を大地にするという進行。いずれにしても、相当レベルの高い戦いだったようです。

◆ 会員同士の連係を密にするにはどうしたらいいか。みなさん多忙なので、情報交換会をそうそう開くことはむずかしいでしょう。この会報の積極的利用も一つの方法ですが、なにかもつと楽しめる会合を考える必要がありそうです。

囲碁の医学的効用

東京都立神経病院 飯塚 あい



囲碁の魅力、それはゲームそのものの面白さだけに留まるものではありません。このコーナーでは囲碁の魅力を通じて社会に与える影響、なかでも医療にどう役立つかということについて、私の考えをお伝えしていこうと思います。

これまでの記事で、囲碁が世代や肩書きを超えて、周囲とのコミュニケーションを図る最高のツールであることをお伝えしました。今回は、私が最も「囲碁療法」の効果があると考えている疾患、認知症についてお話ししたいと思います。

認知症とは、色々な原因で脳の細胞が死んでしまったり、働きが悪くなったために様々な障害が起こり、日常生活や社会生活に支障が生じる状態を指します。症状としては、物忘れ、理解・判断力の低下、注意・集中力の低下、性格の変化、道に迷ったり日付がわからなくなることなどがあります。

認知症というのは、ひとつの疾患のことを表しているものではなく、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症などいくつかの分類に分けられ、原因もそれぞれ異なります。

特に患者数が多く問題とされているのが、アルツハイマー型認知症です。初期は軽度の物忘れから始まり、進行すると人格の変化や異常行動が目立つようになり、正常なコミュニケーションをとることができなくなります。治療法としては、症状を和らげたり、進行

を遅らせる薬がいくつかありますが、いずれも効果が目覚ましくないのが現状です。そこで、今日では世界中の医師、研究者から認知症の予防に焦点が当てられています。

認知症の予防には、脳の前方にある前頭葉の一部である前頭前野を活性化することが有効であるという報告があります。前頭前野とは、人間が人間らしくあるための最も重要な機能を司る部分であり、思考力、コミュニケーション力、注意・集中力、意思決定をする能力などの役割があります。認知症患者さんは、この前頭前野の機能が低下しているのです。そこで、前頭前野を活性化することが、認知症の予防に効果があるのではないかと言われています。

現在、前頭前野を活性化するツールとして、簡単な読み書き、計算、パズルゲーム、料理、旅行、音楽、園芸など様々な取り組みがされています。その中でも、カナ

ダの研究者たちによって、パズルゲームが認知症の予防に有効であるという結果が発表されました。そこで考えられるのが「囲碁療法」の可能性です。囲碁はパズルゲームに似ており、加えてさらに高度な能力が必要なゲームです。そのことから、認知症の予防に有効なのではないかと私は強く思います。

とある日本の調査では、認知症の予防のために活用したいツールについて、人気が高かったのは麻雀や囲碁などの卓上ゲームであり、特に男性では六十一%と高い結果となりました。効果を得られる可能性が高いだけでなく、プログラムに取り組む意欲も得られるのではないのでしょうか。

今回は、なぜ他のゲームではなく囲碁なのか、囲碁ならではの特徴と、脳の機能に対する影響についてお伝えしていきたいと思えます。

田基中散歩

光井 一 矢

囲碁史会会員



今回は徳川家康と碁敵について紹介する。家康とよく囲碁の記述があるのが、細川幽齋、伊達政宗、そして浅野長政である。

特に家康と長政の対局に関するエピソードには面白い話がある。『武辺雑話』に二つ載っている。あるとき、長政と対局していた権現様（家康）は形勢芳しからず、かなり機嫌を損じている様子。そこで、長政の末子である采女長則が本因坊（算砂）に迎えを出して観戦させた。

権現様は本因坊を見つけると、

手招きしてこういった。「わしらの碁はどうじゃ。この石をハネたらどうじゃ。それよりほかに手はなかるう」と。本因坊は答えた。「おハネなざるよりありません」

そこで、権現様はハネを打って、その碁を勝ち機嫌がなおった。一方、長政は大いに怒り、本因坊を次の間へよびだし脇差に手をかけ「へんなどころへその方がしゃしゃり出て、わしは碁を負けた。重ねて助言しようものなら斬って捨てるぞ」と詰め寄った、というもの。

もう一つは、別の日、屋敷の庭前に毛氈を敷き、両者はその上で碁を囲んだ。立会いの算砂は「日が当たり、まぶしいですから」と断って日除け傘をさした。その傘には、あらかじめ小さな穴が空けられており、家康が石を打つべきところへ穴からの日差しで示す。家康は算砂の意図をさとると、そのとおりに打って勝つことができた。長政は不興千万に思い悔しがった

が、家康は算砂に「お前は頭が良い」といつてほめたという。

長政が悔しがれば悔しがるほど、家康はカサにかかって追いつめた。長政が失着を重ねるたびに「待った」を許してやり、長政が投げようとすると、「こまかい、こまかい」といつて投了をみとめない。最後まで打って、結局五十目以上の大差で勝つこともあった。

長政が死んだとき、家康はしばらくの間、碁を打たなかったと言われている。

細川幽齋も家康と囲碁の記述を多くのこしている。家康主催の碁会には幽齋はほとんど出席しているし、幽齋自身もかなりの回数碁会を催している。

幽齋の没後も三日間、囲碁将棋を差し止めている。ライバルがいなくなるとこうして喪に服したのだろう。幽齋は遺言で愛用の盤石を家康に譲っている。

家康と囲碁のライバルではない

が、囲碁を嫌っていたという人物では石田三成が有名である。

あるとき両者は伏見から船に乗り、大阪の前田利家の館へ向かった。その船中で囲碁を打ったという。その席には、浅野長政をはじめ、福島正則、池田輝政、黒田孝高（如水）、加藤清正、藤堂高虎らがいた。後の関ヶ原合戦で東軍として戦う面々である。そこへ石田三成がひよっこり顔を出したので一同すつかり興醒めしたという。

家康は囲碁で人の和を広げたが、三成は囲碁をしなかったので孤立してしまつたという話まであるぐらいである。

織田信長、豊臣秀吉の囲碁の記録に関しては、伝説的な要素が強く、後生の創作であるとされるが、家康に関しては多くの記録から本当に囲碁が好きであったことがわかる。

次回は織田信長の伝説について述べる。

ちよつと道草

四種の乱碁①

「碁」には囲碁のほか、むかしはさまざまな碁がありました。そのうち格碁と呼ばれたのは五目並べで、今では「連珠」として複雑なゲームに進化しています。

連珠にも、十九路盤使用や十七路盤使用の流派があり、「二抜き連珠」というゲームもあります。いずれも、タテ、ヨコ、ナナメで五つ連続すれば勝ち、というのが基本です。

「綴碁」は乱碁とも呼ばれたこともあるようですが、どうやら現代のボンヌキゲームに近く、それぞれ三十目ほどを手を持ち、ボンヌキの形になれば相手の石を取って自分の石に加え、ボンヌキの形が作れなくなれば終了。そのとき手の中の石が多い方が勝ち、というルールのようなようです。

また、「乱碁」の名称で、碁盤

に石を沢山置き、指にくつつけて落とさぬように取れば自分の石、というゲームもあったようです。

これは今でも将棋の駒を利用して子どもたちが遊んでいるゲームでしょう。碁石は将棋の駒のように山積みできないので、あまりおもしろくなかったはずですが、すぐにすたれたのかもしれない。

乏しい文献からして、最も有力な乱碁のルールは、一時期「芸者碁」と呼ばれた遊びのようです。これに関しては、次回に図例を示して、詳しく説明することにしてしまおう。現代でも復活可能な遊びです。

囲碁の技術が発達し、そのおもしろさが浸透するまでには、碁石を使ったさまざまな単純な遊びがおこなわれていました。その一つに「弾棋」(たぎ)があり、碁盤の端に双方が同数の石を並べ、指ではじいて相手の石を盤外に出したり、中央の碁笥の蓋に入れたりして遊ぶルール。そのための中高の盤が現在にも残っています。

囲碁川柳

碁柳会九月例会から

喧嘩して夫の靴に

碁石入れ(こすみ)

痛いけれども碁石なら傷が付きません。多少は妻の心遣いか。下句に、オット(夫)痛いななんて碁石が、とありました。

碁の客へ掃除機逆さに

立ててみる(斜凡)

長つ尻の客へは箒を逆さまに立てる、というオマジナイがあります。しかし、今どき箒のある家は少なそう。そこでやむをえず、掃除機で代用しようというのですが、はたして効果があるか。いつの世も、亭主の碁仇女房の目の仇のようです。

独り碁や秋刀魚を友に

身をこがし(蛙遊)

下句に、秋に染み入る蛤の音、とか、青きミカンの碁敵が欲し、などと付けている人がいました。

赤ちようちん碁の負け組か

タラレバ会(裕石)

ああすレバ、こうシタラ、の残念会です。みんなで負けレバ怖くないツラ、の下句あり。

兼題は「太陽」ですが、けっこうむずかしかったようです。

陽の当たる居場所見つけた

碁のおかげ(裕石)

高齢者は心がシんとしてしまうような句です。下句にも、謙虚な心尊敬至極、というのがありました。

この定石耐用期限が

切れていた(ぐずみ)

定石は日進月歩ですから、そんなこともしよつちゅうありそう。あまり生意気な定石を選ばない方がいいかもしれません。食あたりして取られごころ、の下句。耐用期限も賞味期限も似たようなものですかね。

囲碁いのち空に太陽

ある限り(野菊)

みなさん好きですなぁ。囲碁には宇宙を変える力があるのですから。ホントかな。

太陽が西からのぼる

ザルの勝ち(昭圭)

脳梗塞と囲碁

表谷 泰彦

日本経済新聞で文化部や社会部の記者を務めた私は、後半の二十数年を囲碁・将棋の担当記者として過ごし、平成十三年六月に満六十歳の定年を無事迎えた。ところがその二年後の九月、突如異変に見舞われる。

その日、横浜市栄区の碁会所で正午過ぎから席亭のSさんと碁を打っていた。いつもは接戦ながらわずかに分があるはずなのに、二局続けて全く良い所が無い完敗。「これは変だな」と思いつつ、三局目を始めた途端に、右手と右足にマジが生じ、石を持ってなくなった。Sさんの

二九番通報で鎌倉市内の病院に運ばれる破目に。診断は脳梗塞で即入院となった。幸い一ヶ月程で退院できたが、十一年後の今も右手、右足の不自由が続いている。

健康維持のため始めた草むしり

や野菜づくりも、椅子に座つての左手だけの作業。碁や麻雀も然りで、今や一人前のサウスポーだ。ただペンと箸だけは左手では無理で、痛みとふるえをこらえて右手を使っている。パソコンは碁を打つ機械ぐらいに思うアナログ世代の私には、パソコンでの原稿は抵抗が大きすぎるのである。

発病後も日経で囲碁観戦記を書かせてもらっており、解説はすべて福井正明九段に頼み、原稿のチェックまでお願いしている。脳をやられた私が大過なく観戦記を続けてこられたのも福井先生あつてのことと深く感謝している。

また、発病後小杉勝八段と親しくなり、五年ほど前からは月に二、三次内（七子局）ともども碁を打ってもらっている。「いくら考えてもいいですよ」との厚意に甘え、三子局で全力を注いで立ち向かうため、二時間以上かかることも珍らしくない。勝てるのは年に二局か三局しかないが、ヘトヘトになるまで力を出しきつた碁は、負けても気分は爽快で、

何よりの精神的リハビリになっている。年に数回、東京や横浜で福井、小杉両先生と一語に呑むのは、私にとって至福の時なのである。

定期的に脳外科と内科の診療を受けているせいも、ヨタヨタ歩きの不自由さを別にすれば健康面の心配はない。酒もタバコも止めないのに、血液検査の数値も発病前より良いほどだ。これが正に一病息災なのだと思う。

七十三歳まで馬齢を重ねてこれたのは、私の身を案じてくれる愚妻と二人の娘の存在、それに右半身の不自由さを忘れさせてくれる囲碁のおかげだろう。

囲碁三昧を満喫した人生に思い残すことは無く、いつお迎えが来ても、と思っていた。ところが今年五歳と四歳になった孫の顔を見ると、せめて二人が小学校を卒業するまでは、との欲が出てくる。煩惱からのがれられるのは、盤上に遊ぶ時だけなのか、と思う今日この頃である。

囲碁関連各種団体との連絡協議会設置を考える時期が来ています

囲碁界にはさまざまな団体があります。公益財団法人から気の合った人たちと囲む小碁会まで。それらの団体と連絡を取り合えば、囲碁の楽しみはさらに増大するでしょう。まずその実態を把握することから始めませんか。

編集後記

バラエティに富んだ紙面を心がけていますが、今回はどうだったでしょうか (相場一宏)

『日本の碁』

第5号

発行人 菊池康郎
編集人 相場一宏
発行所 全日本囲碁協会
〒160-0021
東京都新宿区歌舞伎町一―二四―二
西武ビル六F
印刷所 あるふあプラス
〒169-0075
東京都新宿区高田馬場一―二九―三
〇三(三二〇九)八〇一一